

岡山県感染症週報

2012 年 第 5 週（1 月 30 日～2 月 5 日）

岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中です。

◆2012 年 第 5 週（1/30～2/5）の感染症発生動向（届出数）

■全数把握感染症の発生状況

第 2 週 2 類感染症 結核 2 名（60 代 女 1 名、80 代 男 1 名）

第 3 週 2 類感染症 結核 1 名（20 代 女）

5 類感染症 後天性免疫不全症候群 1 名（60 代 男）の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

○インフルエンザは、県全体で 2,563 名（定点あたり 30.51 人）の報告があり、前週より減少しました。

○感染性胃腸炎は、県全体では減少しました。

【第 6 週 速報】

○インフルエンザとみられる臨時休業が、109 施設ありました（2 月 6 日～2 月 9 日まで）。

▽岡山市 49 ▽倉敷市 20 ▽備前地域 19 ▽備中地域 8 ▽備北地域 1 ▽真庭地域 7 ▽美作地域 5

○集団かぜによる学年閉鎖が、井原市の幼稚園（2 月 6 日）、岡山市の幼稚園（2 月 8 日）でありました。

○感染性胃腸炎による学級閉鎖が、玉野市の小学校でありました。（2 月 9 日）

1. **インフルエンザ**は、県全体で 2,563 名（定点あたり 30.51 人）の報告があり、前週（定点あたり 35.88 人）より減少しました。岡山県ではひきつづき『**インフルエンザ警報**』を発令し、注意喚起を図っています。県全体の感染症発生レベルは 3、地域別では岡山市・倉敷市・備前地域・備中地域・真庭地域がレベル 3、備北地域・美作地域がレベル 2 になりました。県内の発生状況・臨時休業情報などは『**インフルエンザ情報**』をご覧ください。

全国の第 4 週（1/16～1/22）定点あたり報告数は 35.95 人で（前週 22.73 人）、3 週連続して全ての都道府県で報告数の増加がみられ、14 府県では定点あたり報告数が 40.00 人を上まわっています。

2. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、県全体では 2 週つづけて減少しました（定点あたり 8.59 → 7.63 人）。詳しい県内の発生状況は『**感染性胃腸炎情報**』をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★★★★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

前週からの推移： 2 倍以上の減少 1.1～2 倍未満の減少 1.1 未満の増減

1.1～2 倍未満の増加 2 倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去 5 年間の標準偏差値を 5 等分し、流行状況の目安として 5 段階で表示しています。

保健所別報告患者数において **数字** は感染症マップにおいてレベル 3、**数字** は感染症マップにおいてレベル 2 を示しています。

インフルエンザ情報 第 5 週 2012 年 1 月 30 日 ～ 2 月 5 日

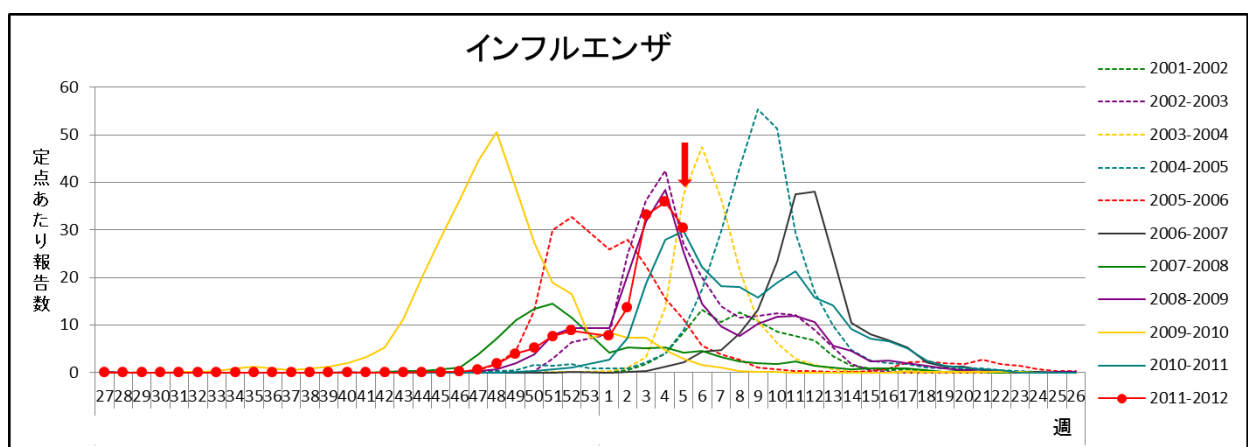
岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 2,563 名（ 定点あたり 30.51 人 ）となり、前週より減少しました。
- 県全体では感染症発生レベル 3 で、流行が継続しています。
- 真庭地域は、感染症発生レベル 2 からレベル 3 に上がりました。
- インフルエンザとみられる学校の臨時休業が、県内全域の 127 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者が、5 名ありました。
- インフルエンザウイルス B 型（ビクトリア系統）が、2 株検出されました。

【速報】第 6 週 インフルエンザとみられる臨時休業が 109 施設でありました。（ 2 月 6 日～2 月 9 日まで）

▽岡山市 49 ▽倉敷市 20 ▽真庭市 7 ▽備前市 6 ▽玉野市 5 ▽津山市 5 ▽和気町 4 ▽総社市 3
▽笠岡市 3 ▽赤磐市 2 ▽早島町 2 ▽新見市 1 ▽吉備中央町 1 ▽瀬戸内市 1



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザ患者数は 2,563 名（ 84 定点医療機関 定点あたり 30.51 人 ）であり、前週（ 3,014 名 定点あたり 35.88 人 ）より減少しました。岡山県は県内に『インフルエンザ警報』を発令し、ひきつづき注意喚起を図っています。地域別では、倉敷市（ 37.44 人）、備中地域（ 37.33 人）、真庭地域（ 36.33 人）、備前地域（ 32.60 人）、岡山市（ 28.09 人）、美作地域（ 19.90 人）、備北地域（ 16.83 人）の報告があり、真庭地域で患者が増加しました。感染症発生レベルは、県全体ではレベル 3、岡山市・倉敷市・備前地域・備中地域・真庭地域がレベル 3、備北地域・美作地域がレベル 2 であり、患者数は減少したものの、流行は継続しています。

県内のインフルエンザウイルスの主流は AH3 型ですが、今シーズン初めて集団感染事例から B 型が検出され、B 型も流行していることが確認されました。一度インフルエンザにかかっても、型の異なるインフルエンザウイルスに再び感染することがあります。ひきつづき『外出後や食事前の手洗い・うがいを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠をとる。』など、感染予防に努めてください。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケット※を心がけましょう。

※咳エチケット：人に向かって咳やくしゃみをしないこと。とっさに咳やくしゃみが出そうなときは、周囲の人から顔をそらし、そで口で口をおおう、また用意があればティッシュなどで口・鼻をおおいます。咳やくしゃみが続くときはマスクの用意してください。

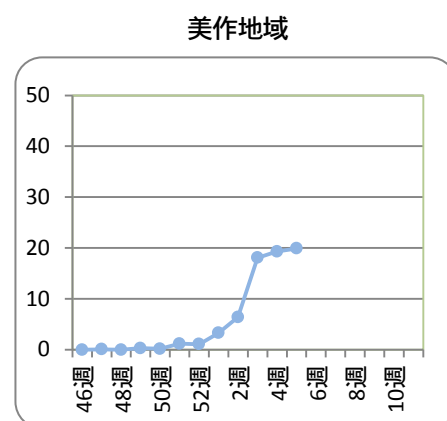
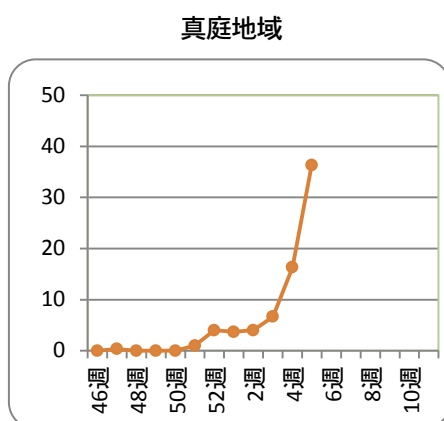
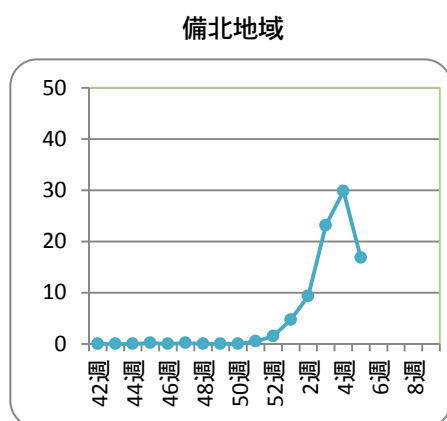
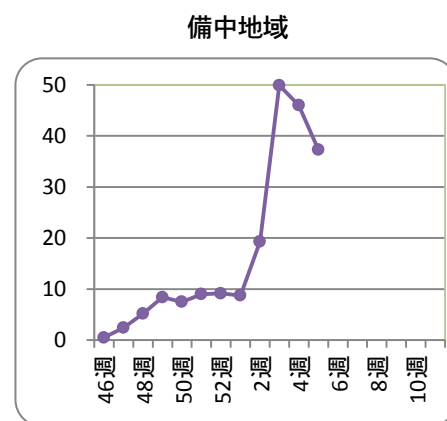
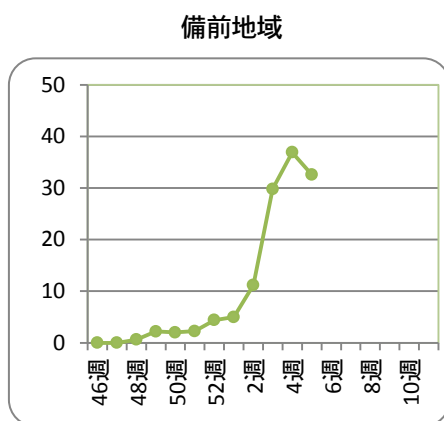
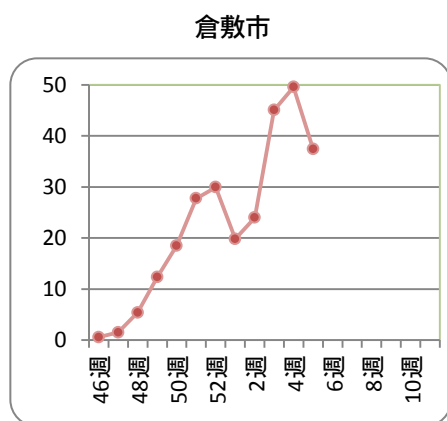
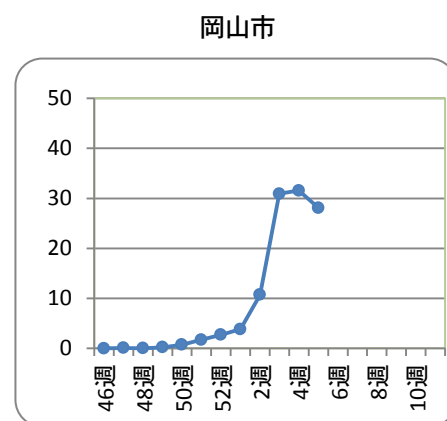
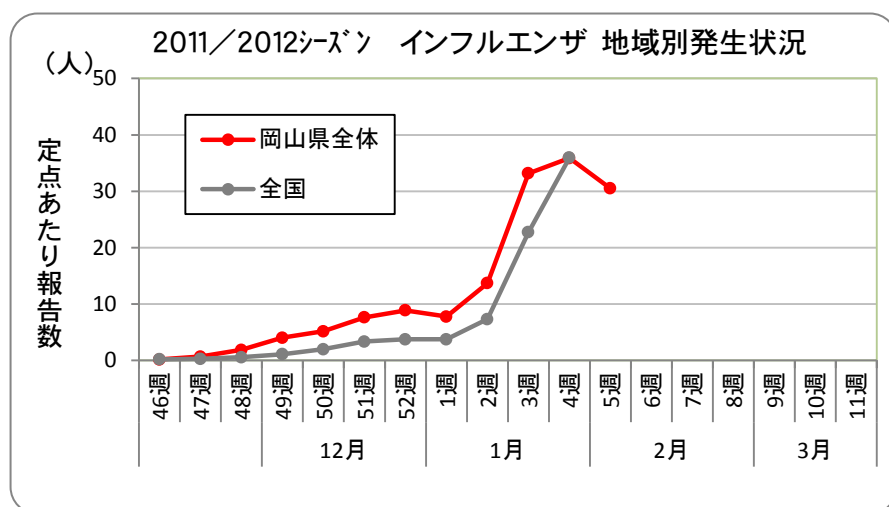
○全国のインフルエンザ発生状況（国立感染症情報センター）

1. 地域別発生状況

第5週（1/30～2/5） 前週からの推移（単位：人）

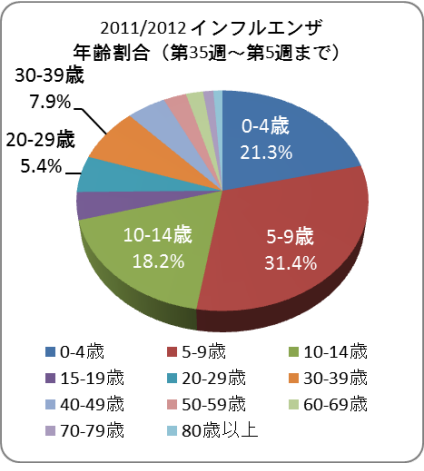
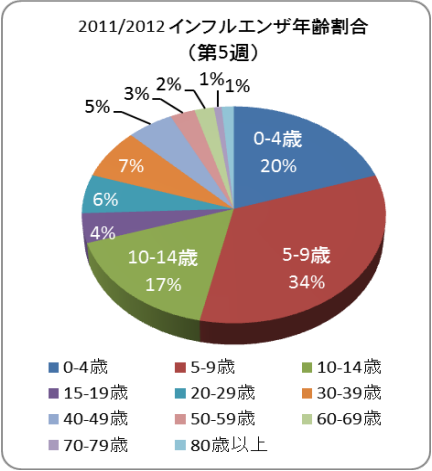
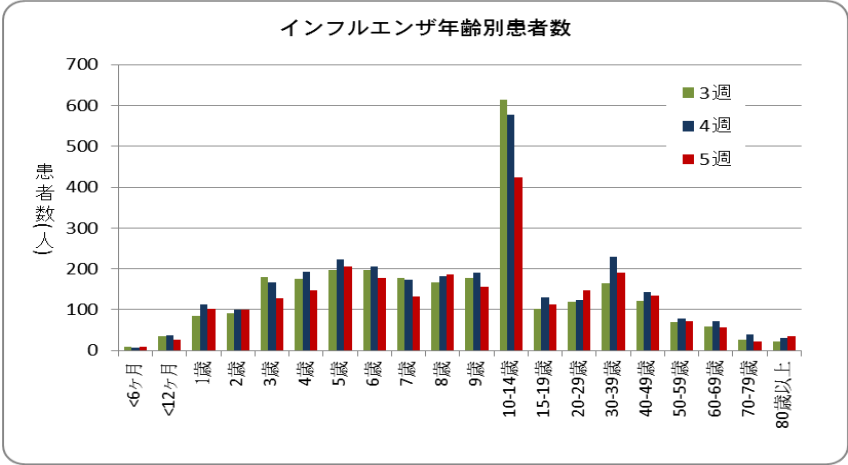
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	2,563	↓	備 中	患者数	448	↓
	定点あたり	30.51			定点あたり	37.33	
岡山市	患者数	618	↓	備 北	患者数	101	↓
	定点あたり	28.09			定点あたり	16.83	
倉敷市	患者数	599	↓	真 庭	患者数	109	↑
	定点あたり	37.44			定点あたり	36.33	
備 前	患者数	489	↓	美 作	患者数	199	→
	定点あたり	32.60			定点あたり	19.90	

【記号の説明】 前週からの推移： ↓ 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↓ 1.1～2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加



2. 年齢別患者発生状況 第5週（1/30～2/5）

第5週、患者の年齢割合は5-9歳が全体の34%で最も多く、0-4歳が20%、10-14歳が17%の順であり、幼稚園児・小学生に該当する年齢層が患者の多くを占めています。



➤ インフルエンザウイルス検出状況 第5週（1/30～2/5）

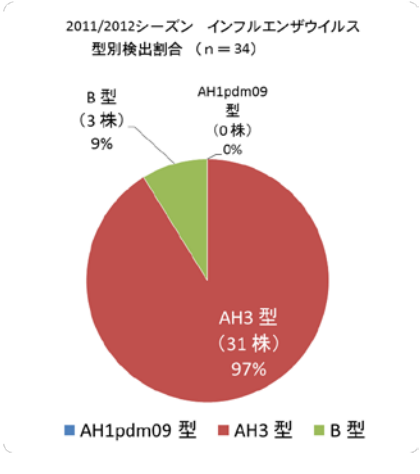
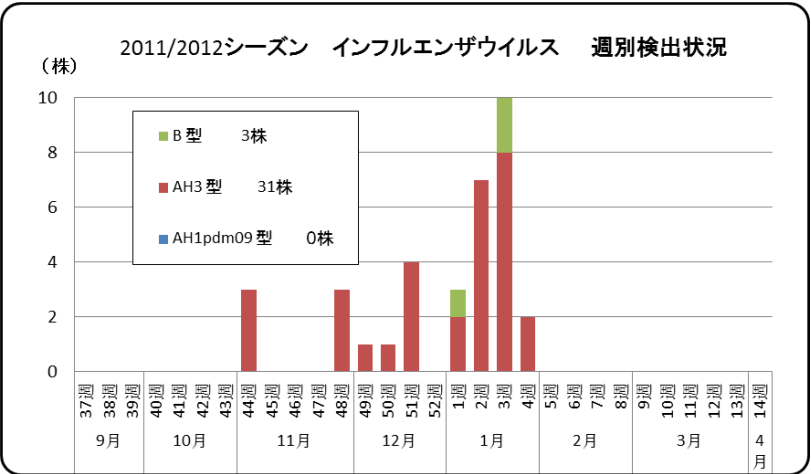
第5週に検出されたインフルエンザウイルスは、岡山市の高等学校の集団発生事例2名からB型（ビクトリア系統）が検出されました。

岡山県でこれまでに検出されたインフルエンザウイルスはAH3型が31株、B型が3株です。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型の割合が最も多く89.7%（1,369株）、B型が10.0%（152株）、AH1 pdm09型が0.3%（5株）の順になっています。AH3型が主流ですが、B型の割合が徐々に増加しています。

(国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012シーズン)

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスB型	第3週	2012年1月19日	岡山市	高校生	男	ビクトリア系統
インフルエンザウイルスB型	第3週	2012年1月19日	岡山市	高校生	女	ビクトリア系統



➤ インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第5週（1/30～2/5）

学校等の臨時休業が県内全域の127施設でありました。

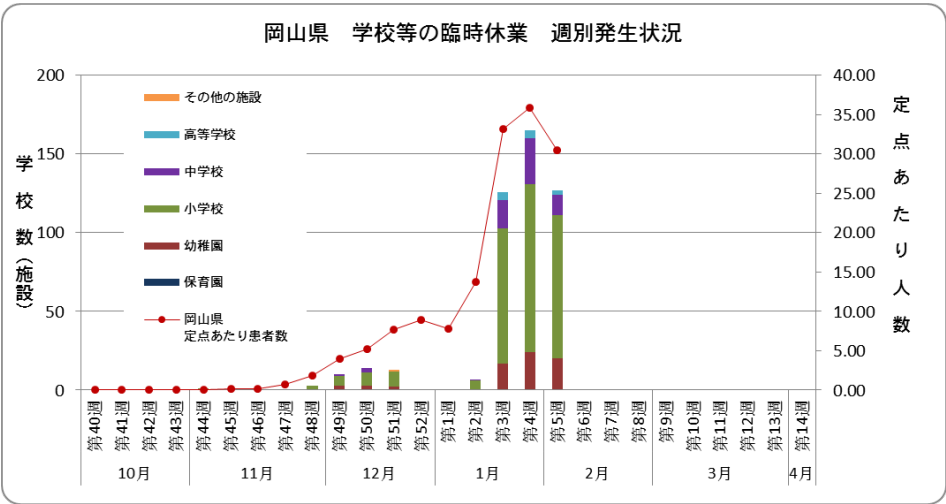
措置別：休園・休校 3施設、学年閉鎖 48施設、学級閉鎖 76施設

施設別：幼稚園 20施設、小学校 91施設、中学校 13施設、高等学校 3施設

有症者数は2,238名、うち欠席者数1,513名でした。

第5週までの合計は、有症者数8,180名、うち欠席者数5,862名、施設数はのべ466施設になりました。

[岡山県 インフルエンザとみられる臨時休業（健康推進課ホームページ）](#)



1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

【第5週】

（第6週発生の臨時休業数の掲載は、第6週週報で行います。）

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	2,238	8,180	1,513	5,862	127	466	3	18	48	136	76	312	H23. 10. 31
岡山市	939	3,410	582	2,248	47	178	0	1	11	33	36	144	H23. 12. 15
倉敷市	513	2,096	362	1,538	25	100	1	3	6	17	18	80	H23. 10. 31
備前地域	375	903	294	742	23	59	1	3	14	29	8	27	H23. 12. 5
備中地域	183	993	142	823	17	77	0	6	8	31	9	40	H23. 11. 30
備北地域	16	194	16	125	3	16	0	1	2	6	1	9	H24. 1. 16
真庭地域	17	150	9	117	1	7	0	2	0	3	1	2	H24. 1. 13
美作地域	195	434	108	269	11	29	1	2	7	17	3	10	H24. 1. 16

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2. 臨時休業施設数の内訳 第5週（1/30～2/5）

岡山市：幼稚園 5 小学校 35 中学校 6 高等学校 1

倉敷市：幼稚園 6 小学校 18 高等学校 1

備前地域：幼稚園 4 小学校 14 中学校 5

備中地域：幼稚園 3 小学校 13 中学校 1

備北地域：小学校 3

真庭地域：小学校 1

美作地域：幼稚園 2 小学校 7 中学校 1 高等学校 1

第5週：127施設

累計：466施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	20	69	91	318	13	65	3	13	—	1

【第6週 学校等の臨時休業 速報】(2/6～2/9 まで)】

【措置別】

休校3施設：岡山市1、備前市1、真庭市1

学年閉鎖28施設：岡山市7、倉敷市3、備前市1、瀬戸内市1、和気町3、吉備中央町2、総社市1、笠岡市2、真庭市5、津山市3

学級閉鎖78施設：岡山市41、倉敷市17、備前市4、赤磐市2、玉野市5、和気町1、総社市2、笠岡市1、早島町1、真庭市1、津山市3、

【施設別】 保育園 0 ▽幼稚園 15 ▽小学校 77 ▽中学校 15 ▽高等学校 1 ▽その他 1

【日付・地域別】

2月6日 ▽岡山市：27 ▽倉敷市：6 ▽備前地域：備前市3、玉野市2、赤磐市2、和気町1、吉備中央町1、(49施設) ▽備中地域：総社市1、笠岡市2 ▽真庭地域：真庭市2 ▽美作地域：津山市2

2月7日 ▽岡山市：11 ▽倉敷市：5 ▽備前地域：玉野市1、和気町2 ▽備中地域：早島町1 (27施設) ▽備北地域：新見市1 ▽真庭地域：真庭市3 ▽美作地域：津山市3

2月8日 ▽岡山市：6 ▽倉敷市：5 ▽備前地域：備前市1、瀬戸内市1 (18施設) ▽備中地域：総社市2 笠岡市1 早島町1 ▽真庭地域：真庭市1

2月9日 ▽岡山市：5 ▽倉敷市：4 ▽備前地域：備前市2、玉野市2、和気町1 ▽真庭地域：真庭市1 (15施設)

➤ 入院時の状況と年齢別内訳の累計 第5週 (1/30～2/5) (県内基幹定点 5医療機関による報告)

第5週、インフルエンザによる入院患者が5名(幼児3名、70代2名)報告されました。特に5歳以下の幼児と70歳以上の高齢者で入院患者が増加しています。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。

乳幼児ではまれに脳症を起こすことがあります。水分をとったあとすぐに吐いてしまい元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときはすぐに医療機関に相談しましょう。

【第5週 入院患者数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	1	1								2		5
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)			1								2		3
頭部MRI検査(予定含)											1		1
脳波検査(予定含)											1		1
いずれにも該当せず	1	1											2

*重複あり

【平成23年9月5日以降に入院した各患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	5	16	6	1	1		1			2	10	15	57
ICU入室											2		2
人工呼吸器の利用											1		1
頭部CT検査(予定含)		6	3		1						4	1	15
頭部MRI検査(予定含)		2									3	1	6
脳波検査(予定含)		5									3	1	9
いずれにも該当せず	5	8	3	1			1			2	4	14	38

*重複あり



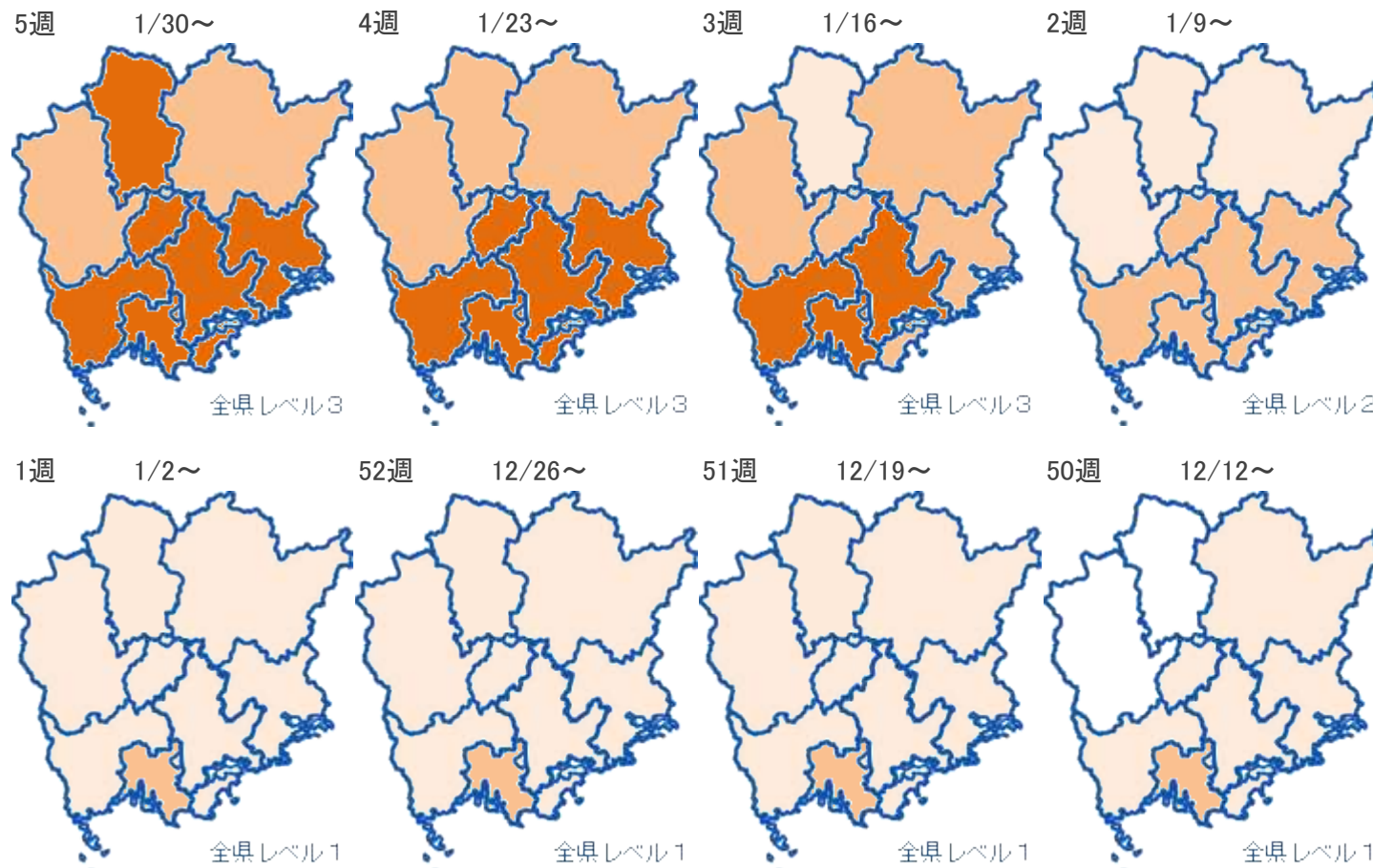
岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2012年 5週

2012年2月8日

13:26:22



インフルエンザ



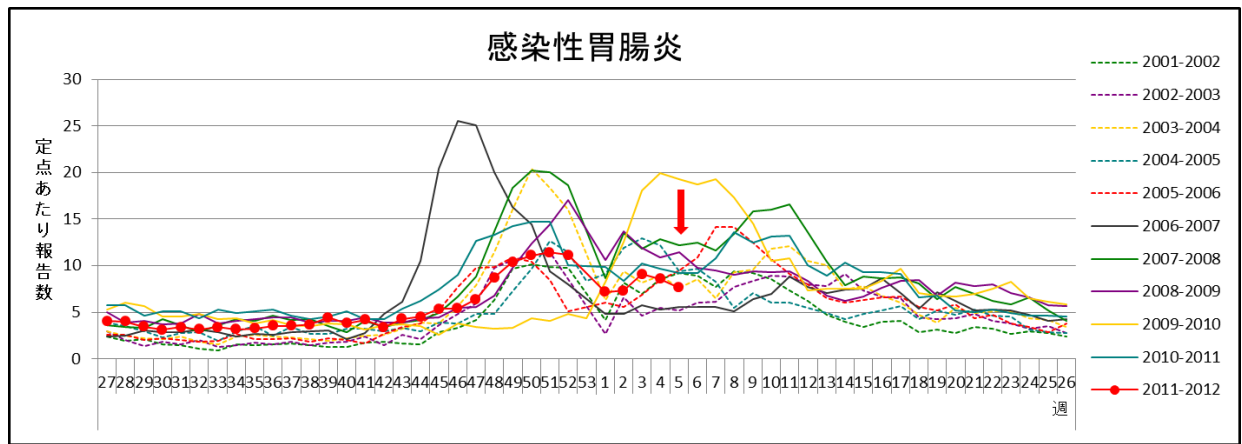
レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

感染性胃腸炎情報 第5週

2012 年 1 月 30 日～2 月 5 日

○岡山県内の患者報告数は 412 名（ 定点あたり 7.63 人 ）で、前週より減少しました。

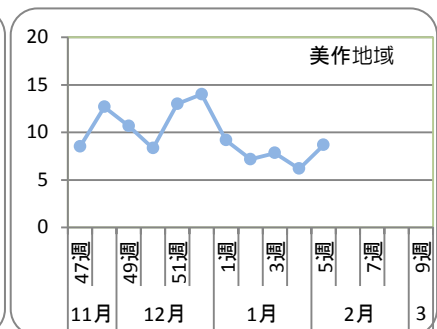
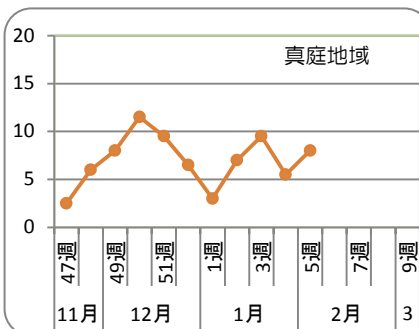
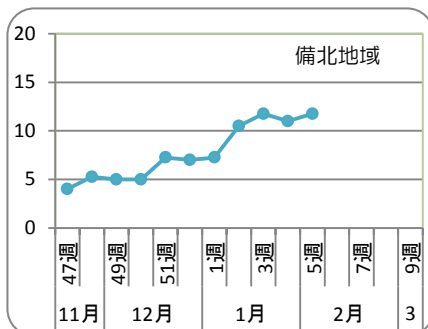
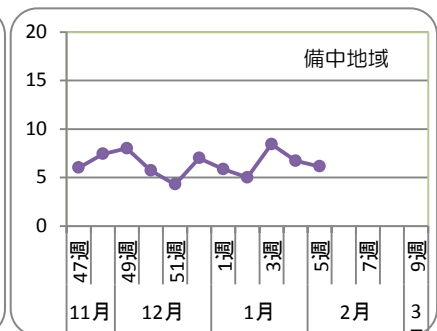
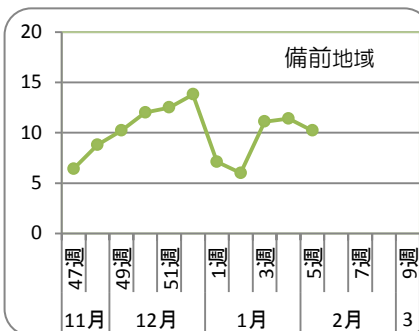
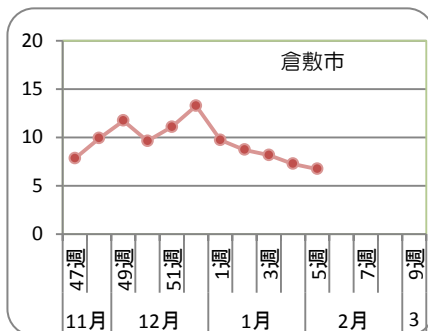
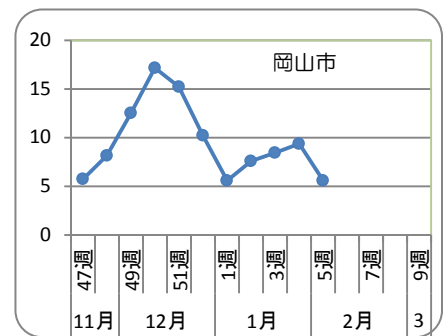
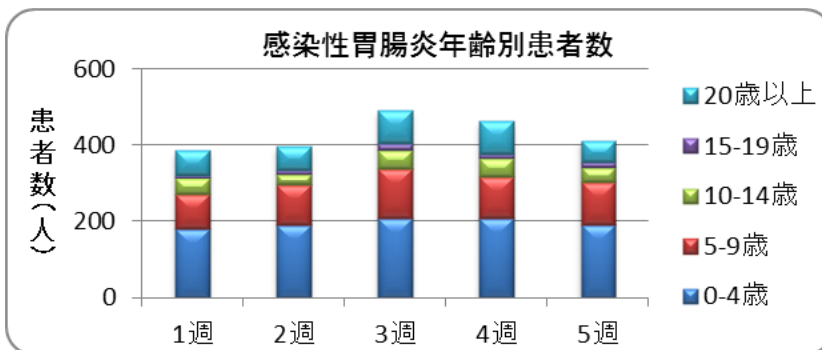


※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、県全体では 2 週つづけて減少しました（ 54 定点医療機関 定点あたり 8.59 → 7.63 人 ）。地域別では、備北地域（ 11.75 人 ）、備前地域（ 10.20 人 ）で患者が多く発生しています。患者の年齢分布は 0～4 歳の低年齢層が約半数を占めています。小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

冬の集団感染事例の原因はノロウイルスによるものが多いと言われています。岡山県では、今シーズンは現在までノロウイルスによる集団発生はありませんが、全国的には食中毒、集団感染事例が相次いでいます。『手洗いを励行する』、『食品は加熱して食べる』など感染予防を心がけましょう。

○ノロウイルス感染症とその対応・予防（厚生労働省） ・[家庭等一般の方々へ](#) ・[医療従事者・施設スタッフ用](#)



保健所別報告患者数 2012年 5週 (2012/01/30～2012/02/05)

2012年2月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2563	30.51	618	28.09	599	37.44	489	32.60	448	37.33	101	16.83	109	36.33	199	19.90
RSウイルス感染症	18	0.33	7	0.50	3	0.27	—	—	4	0.57	—	—	1	0.50	3	0.50
咽頭結膜熱	5	0.09	1	0.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	0.78	13	0.93	14	1.27	—	—	7	1.00	—	—	1	0.50	7	1.17
感染性胃腸炎	412	7.63	78	5.57	74	6.73	102	10.20	43	6.14	47	11.75	16	8.00	52	8.67
水痘	42	0.78	18	1.29	8	0.73	7	0.70	6	0.86	1	0.25	—	—	2	0.33
手足口病	15	0.28	7	0.50	1	0.09	4	0.40	—	—	3	0.75	—	—	—	—
伝染性紅斑	7	0.13	1	0.07	1	0.09	2	0.20	1	0.14	1	0.25	—	—	1	0.17
突発性発疹	15	0.28	12	0.86	3	0.27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	1	0.02	—	—	—	—	—	—	1	0.14	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	28	0.52	12	0.86	8	0.73	2	0.20	5	0.71	—	—	—	—	1	0.17
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	2	0.17	1	0.20	1	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	7	1.40	6	6.00	—	—	—	—	—	—	1	1.00	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 5週 (2012/01/30～2012/02/05)

2012年2月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2563	30.51	618	28.09	599	37.44	489	32.60	448	37.33	101	16.83	109	36.33	199	19.90
咽頭結膜熱	5	0.09	1	0.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	0.78	13	0.93	14	1.27	—	—	7	1.00	—	—	1	0.50	7	1.17
感染性胃腸炎	412	7.63	78	5.57	74	6.73	102	10.20	43	6.14	47	11.75	16	8.00	52	8.67
水痘	42	0.78	18	1.29	8	0.73	7	0.70	6	0.86	1	0.25	—	—	2	0.33
手足口病	15	0.28	7	0.50	1	0.09	4	0.40	—	—	3	0.75	—	—	—	—
伝染性紅斑	7	0.13	1	0.07	1	0.09	2	0.20	1	0.14	1	0.25	—	—	1	0.17
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	1	0.02	—	—	—	—	—	—	1	0.14	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	28	0.52	12	0.86	8	0.73	2	0.20	5	0.71	—	—	—	—	1	0.17
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	2	0.17	1	0.20	1	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第5週 2012/01/30～2012/02/05)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	2563	9	26	101	99	127	148	206	178	132	187	156	424	113	148	190	134	72	56	22	35

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	18	5	3	7	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	5	-	-	1	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	-	1	-	2	4	9	6	3	7	3	2	4	-	1
感染性胃腸炎	412	1	24	54	39	40	34	34	26	18	12	20	39	14	57
水痘	42	2	2	9	6	10	2	3	1	1	-	1	4	-	1
手足口病	15	-	1	-	2	4	4	-	3	-	-	-	-	-	1
伝染性紅斑	7	-	-	-	-	1	1	3	-	1	-	1	-	-	-
突発性発疹	15	-	4	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	28	-	-	1	3	1	3	4	4	5	2	1	3	1	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	7	-	4	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

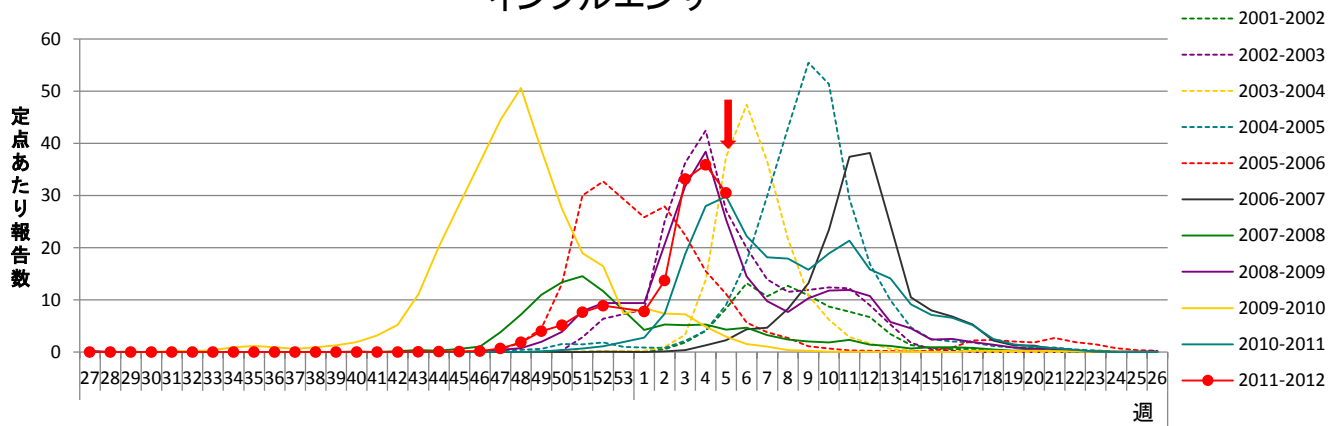
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

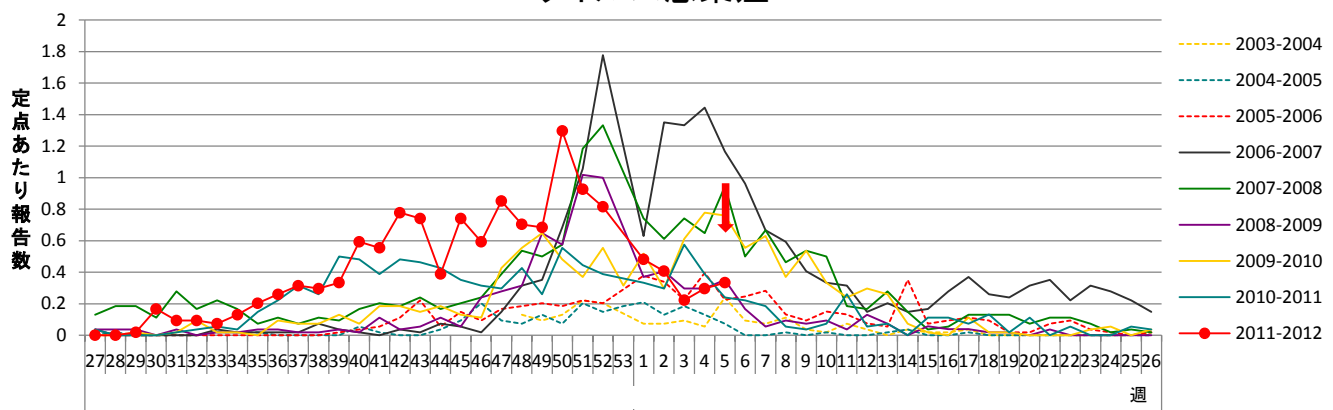
2012 年 5 週

分類	疾病名	2012		2011	疾病名	2012		2011	疾病名	2012		2011
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	7	544	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	-	-	67
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	3
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	-	3	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	-	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	-	11	ウイルス性肝炎*3	-	-	9	急性脳炎*4	-	-	3
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
	後天性免疫不全症候群	-	2	15	ジアルジア症	-	-	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	-	9	破傷風	-	-	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	風しん	-	-	1
	麻しん	-	2	4		-	-	-		-	-	-

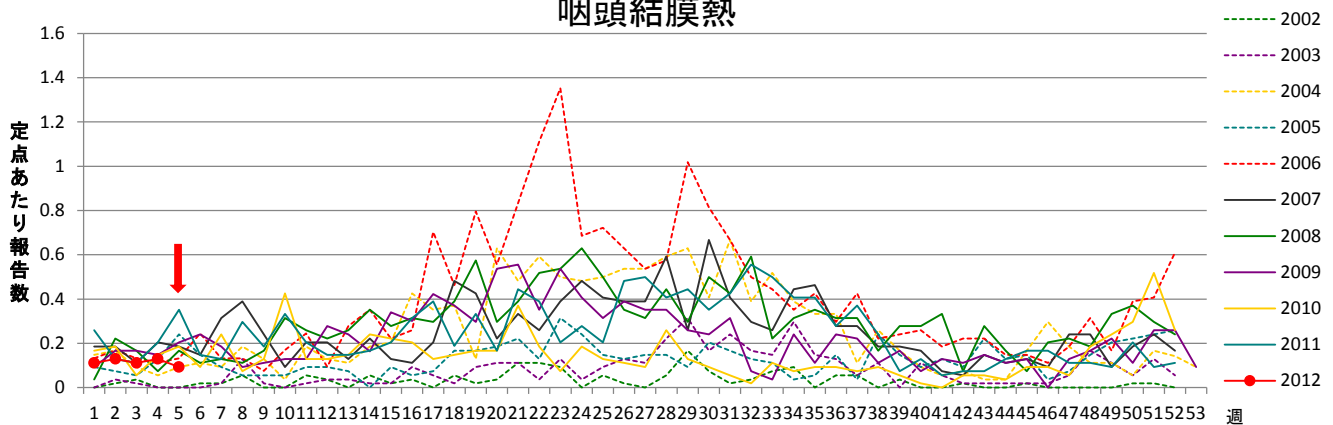
インフルエンザ



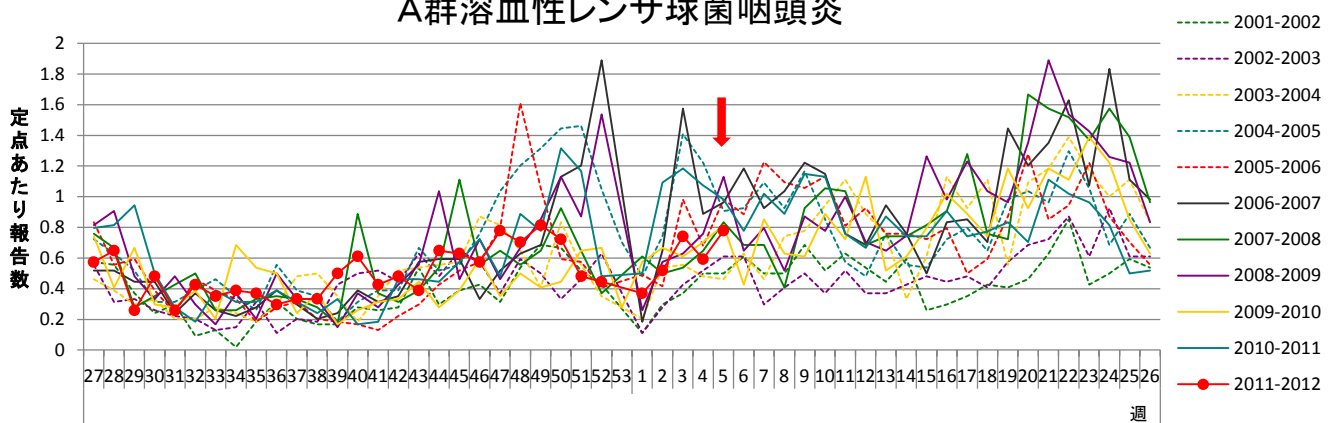
RSウイルス感染症



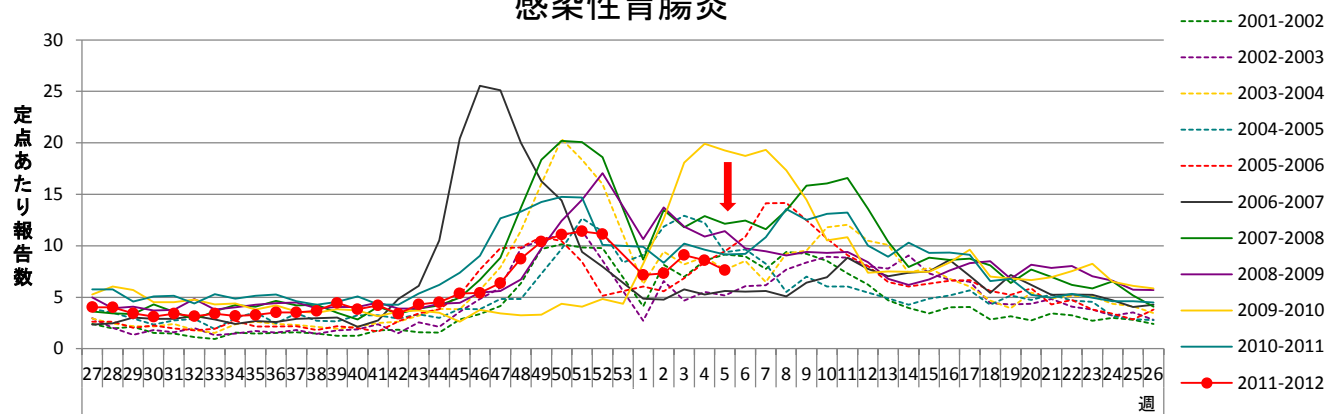
咽頭結膜熱



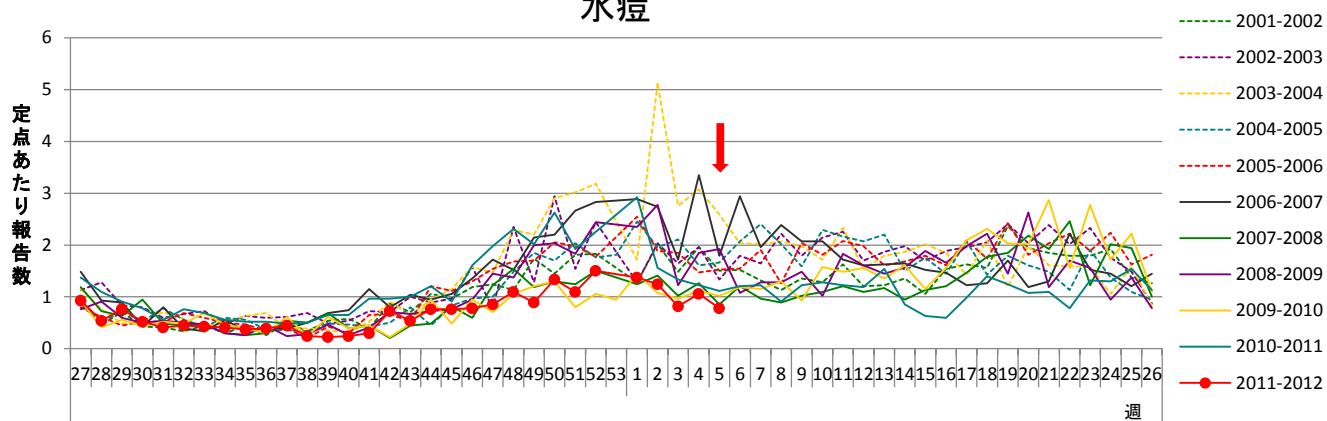
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



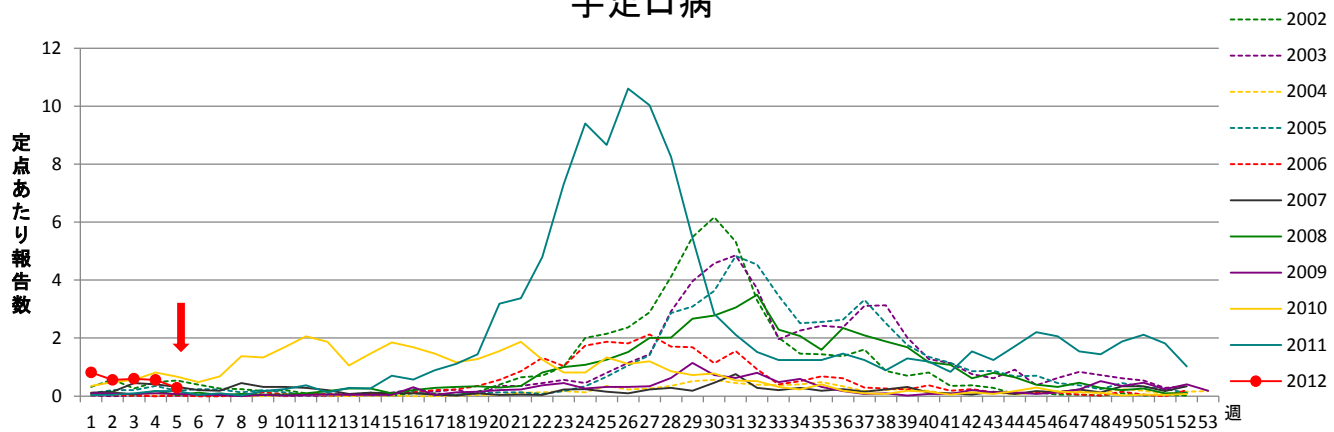
感染性胃腸炎



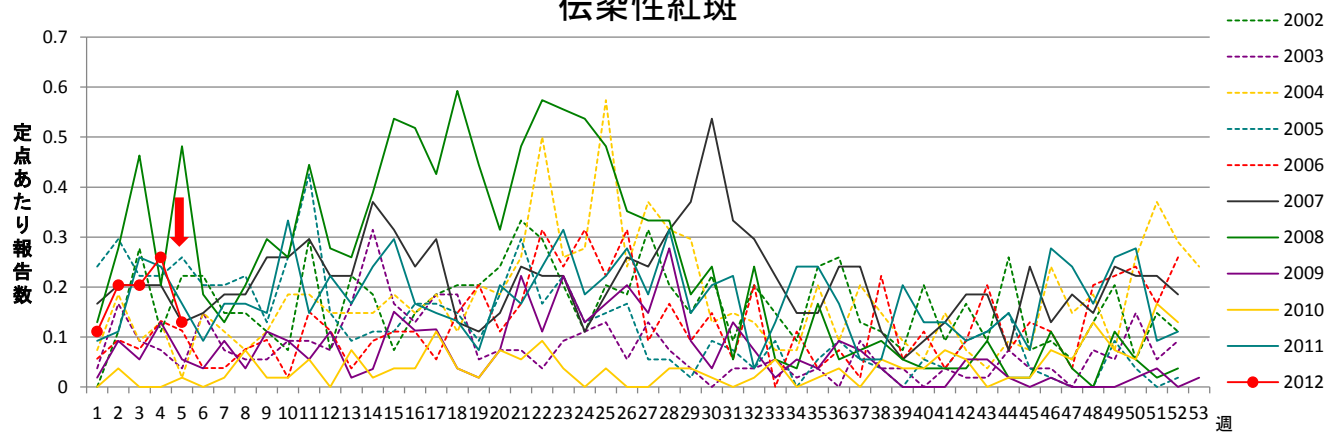
水痘



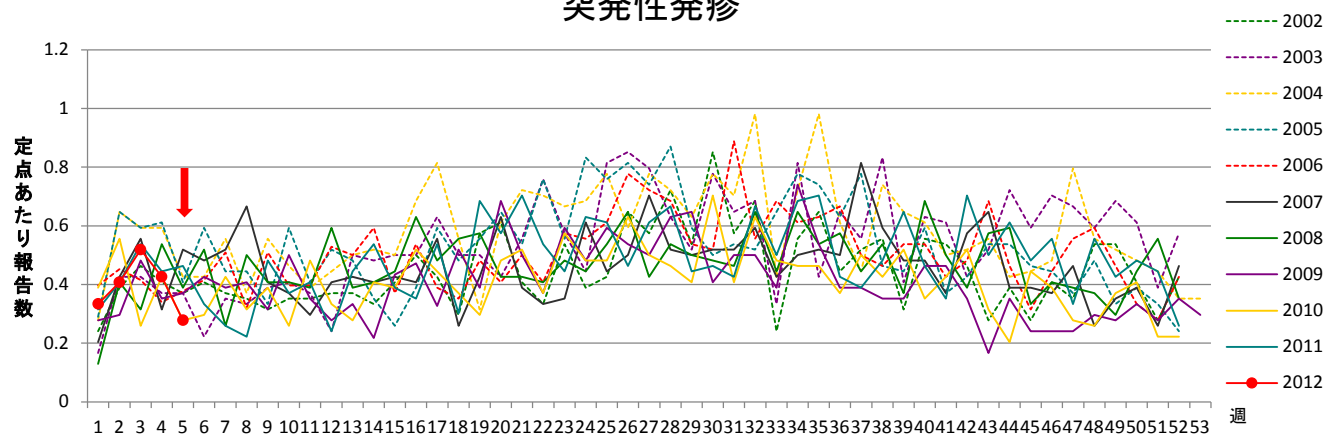
手足口病



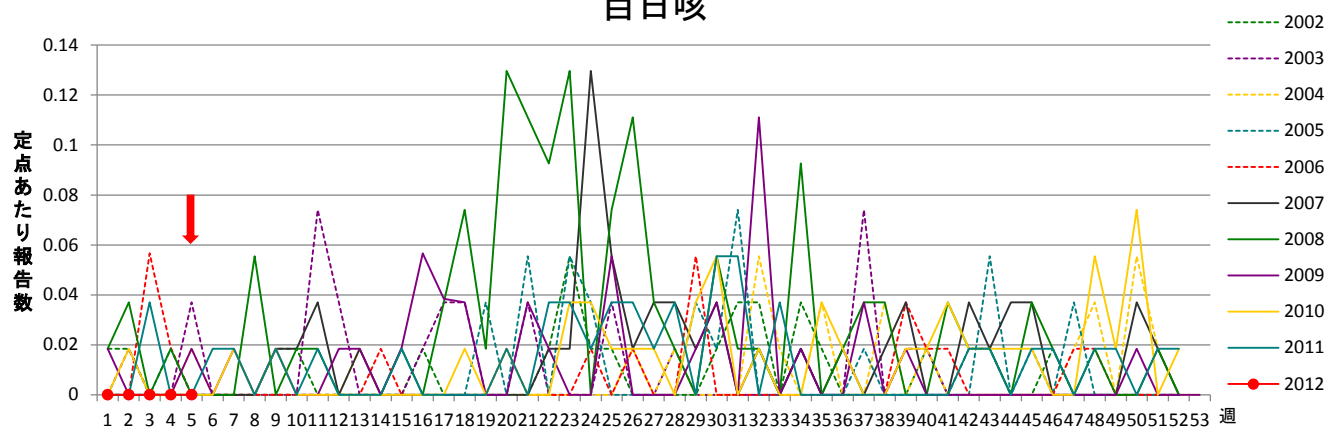
伝染性紅斑



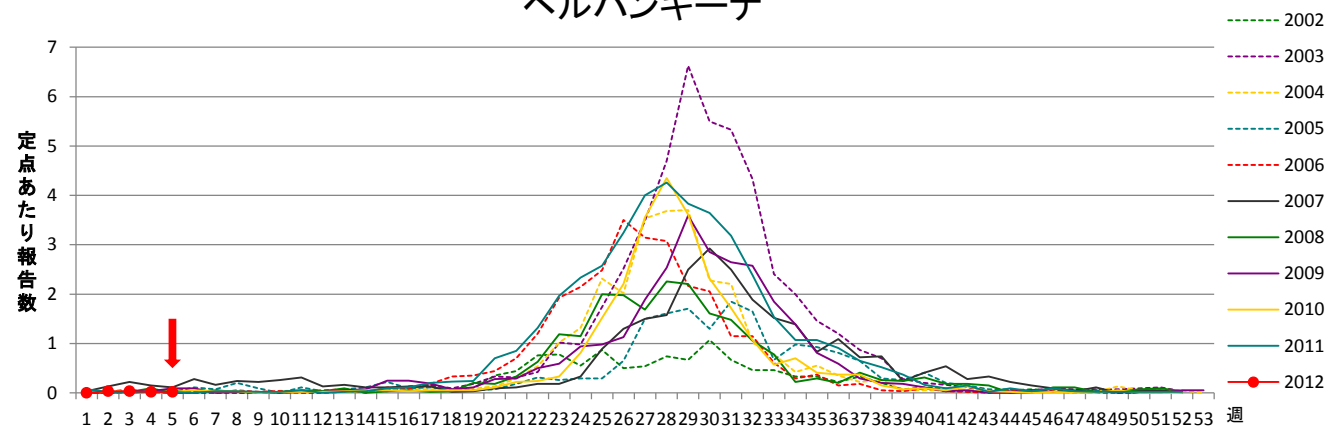
突発性発疹



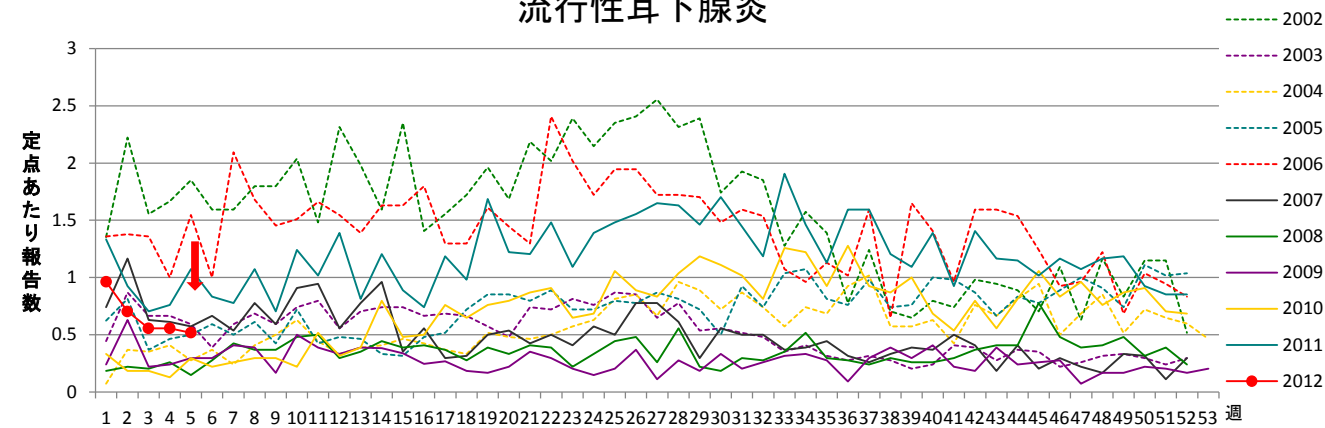
百日咳



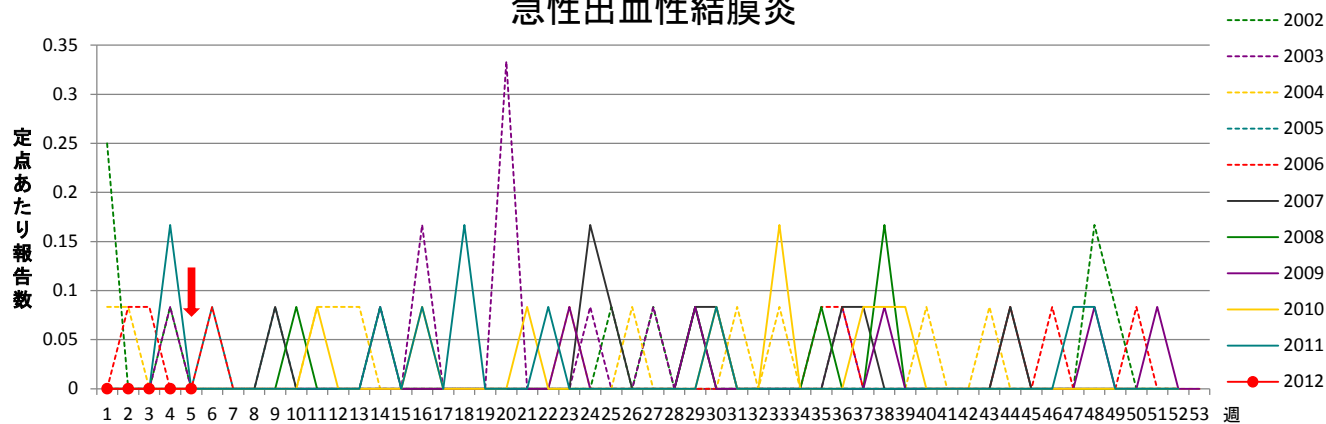
ヘルパンギーナ



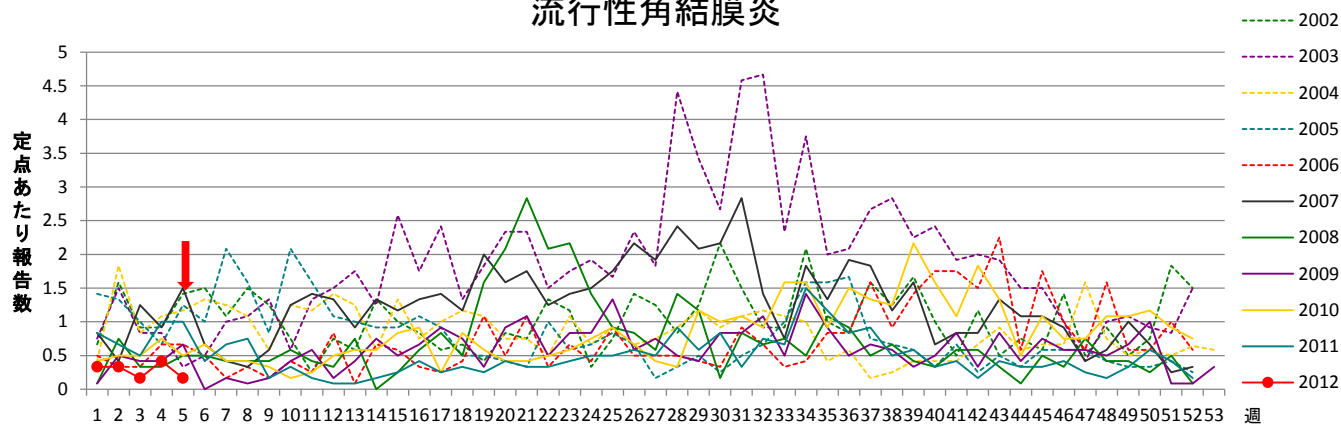
流行性耳下腺炎



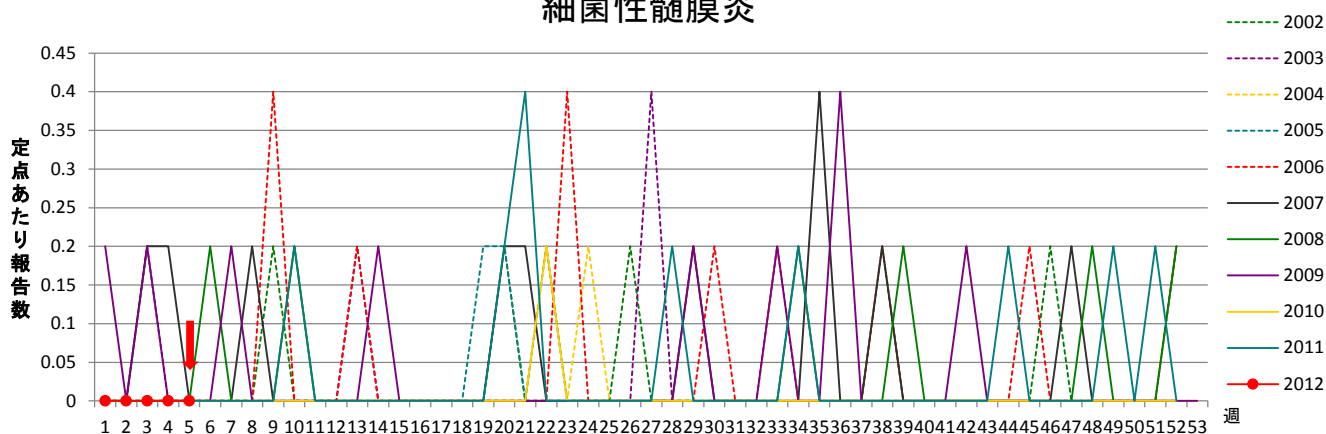
急性出血性結膜炎



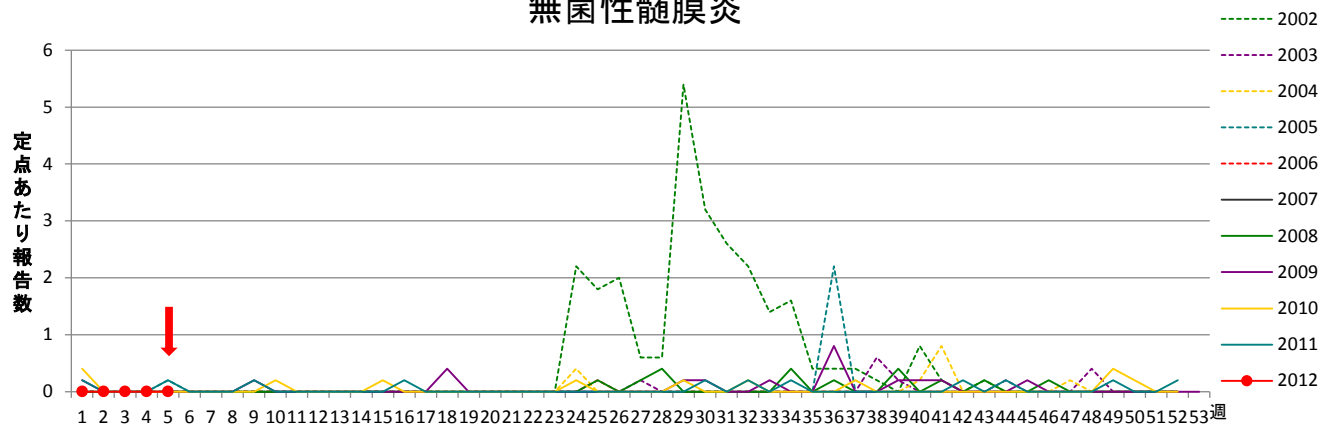
流行性角結膜炎



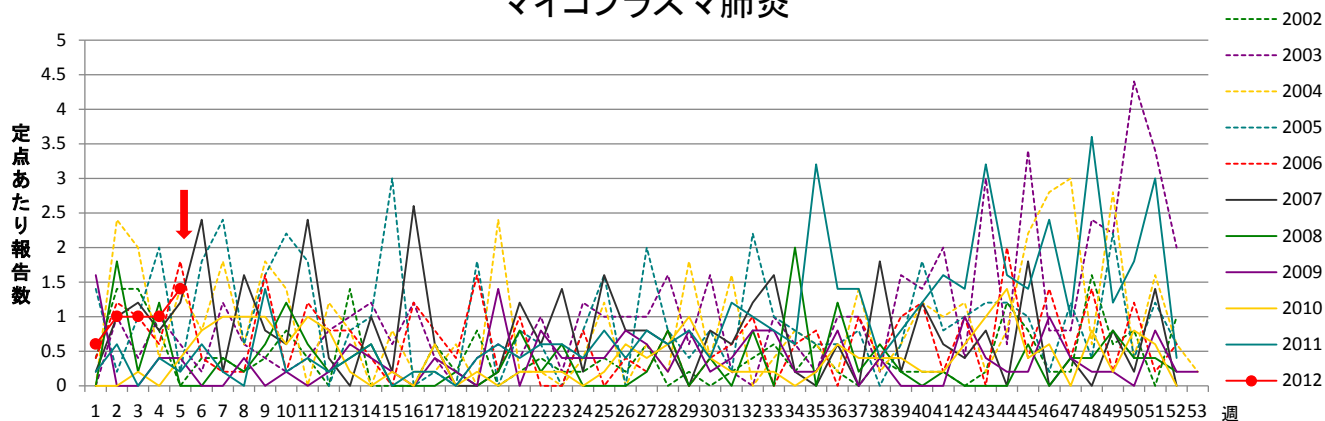
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

